



令和6年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

令和5年11月14日

上場会社名 アプライド株式会社
コード番号 3020 URL <http://www.applied-g.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 岡 義治
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 山口 圭介
四半期報告書提出予定日 令和5年11月14日 配当支払開始予定日 令和5年12月6日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 092-481-7801

令和5年12月6日

(百万円未満切捨て)

1. 令和6年3月期第2四半期の連結業績(令和5年4月1日～令和5年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
6年3月期第2四半期	19,580	19.2	769	51.9	778	52.7	525	63.2
5年3月期第2四半期	16,423	16.3	506	50.8	510	50.9	322	52.8

(注) 包括利益 6年3月期第2四半期 529百万円 (62.8%) 5年3月期第2四半期 325百万円 (52.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
6年3月期第2四半期	194.49	
5年3月期第2四半期	119.19	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
6年3月期第2四半期	16,427	9,776	59.0
5年3月期	16,929	9,408	55.1

(参考) 自己資本 6年3月期第2四半期 9,685百万円 5年3月期 9,321百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
5年3月期		20.00		60.00	80.00
6年3月期		20.00			
6年3月期(予想)				60.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和6年3月期の連結業績予想(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,000	3.6	1,800	3.6	1,800	2.7	1,100	0.1	406.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	6年3月期2Q	2,703,200 株	5年3月期	2,703,200 株
期末自己株式数	6年3月期2Q	122 株	5年3月期	122 株
期中平均株式数(四半期累計)	6年3月期2Q	2,703,078 株	5年3月期2Q	2,703,078 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、物価高や資源価格の高騰、国際情勢の緊張など、引き続き不透明な状況が続いておりますが、新型コロナウイルスの「5類」移行に伴う経済活動の正常化、インバウンド消費の回復などを背景に、景気は緩やかな回復基調が続きました。

このような経済状況の中、IT分野においては、法改正への対応、ルーティン業務の効率化、コスト削減を目的としたデジタル化への需要増加など、企業のIT投資は底堅く推移しました。

上記のような社会環境を鑑み、当社グループのコアビジネスであるIT事業においても、IT導入サポートを中心軸に、AIの研究開発利用促進、特別な環境下でも業務を停滞させない高耐久仕様のパソコン開発、データ保全ソリューション、オンライン保守サポート等、強みを活かした営業展開を図り、顧客増大と深耕を図りました。

全国26店舗を展開するパソコン専門店「アプライド」では、個人ユーザー及び地域の法人様向けのソリューション、専門性の追求による差別化を推し進めました。

大学、官公庁向けの販売を主体とするSI営業は、引き続き高付加価値プライベートブランド製品及びサービスの充実、ソリューション提案に注力しました。また、令和5年5月に仙台市、9月に高槻市に新拠点を開設し、商圏拡大を図りました。

BtoB販売を中心とした特機営業では、対面での商談とオンライン商談の組み合わせにより、お取引先様との密なコミュニケーションを図り、深耕営業の推進、顧客の囲い込みを強化しました。

化粧品・雑貨専門店「ハウズ」は九州と愛知に計6店舗を展開し、オリジナル商品の開発とグループのリソースを活用したイベント開催を軸に、増客と収益性の向上に努めました。

出版・広告事業においては、福岡を拠点とする「株式会社シティ情報ふくおか」にて、出版事業のみならず、SNSや動画等コンテンツ制作、行政・自治体事業、各種企画・運営など幅広く推進し、事業拡大を図りました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は195億80百万円（前年同期比19.2%増）、営業利益は7億69百万円（前年同期比51.9%増）、経常利益は7億78百万円（前年同期比52.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億25百万円（前年同期比63.2%増）となりました。

セグメントごとの売上高は次のとおりです。

- ①パソコン・ゲーム事業は、「AIの日常化に挑戦する会社」直販型メーカーを目指し、高耐久・高信頼な産業用マザーボードを採用した「業務を止めないPCシリーズ」等、業種別用途別に特化した法人向け製品ラインナップを追加展開することで差別化を進め、新たな法人顧客を増やし、売上高は145億61百万円（前年同期比8.8%増）となりました。
- ②化粧品・雑貨事業は、「ささやかな、幸せ感の創出」小さな感動が溢れる雑貨店を目指し、ひーな農園（自社農園）・ハウズスクール・ハウズキッチンを活用した地域密着型販促によりプレミアム会員を増やし、加えて、卸売販売が堅調に推移したことから、売上高は48億71百万円（前年同期比64.6%増）となりました。
- ③出版・広告事業は、「県内ダントツの情報発信基地」を目指し、タウン情報誌や企画本を発刊する出版事業に加え、デジタルサイネージ広告、SNS運用代行サービス、PR動画制作サービス、官公庁・自治体向けプロモーション企画など幅広い事業に取り組み、売上高は1億50百万円（前年同期比1.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ5億1百万円減少し、164億27百万円となりました。これは主に、現金及び預金が8億65百万円減少したためです。

負債の部は、前連結会計年度末に比べ8億69百万円減少し、66億51百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が6億84百万円減少したためです。

純資産の部は、前連結会計年度末に比べ3億67百万円増加し、97億76百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益5億25百万円等により利益剰余金が3億63百万円増加したためです。

この結果、自己資本比率は、59.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和5年5月12日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和5年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (令和5年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,255	2,390
受取手形及び売掛金	6,348	6,310
商品及び製品	1,295	1,647
仕掛品	0	19
原材料及び貯蔵品	53	81
その他	90	100
貸倒引当金	△78	△89
流動資産合計	10,965	10,458
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,102	2,091
土地	2,361	2,488
建設仮勘定	2	0
その他（純額）	178	178
有形固定資産合計	4,645	4,759
無形固定資産	19	18
投資その他の資産		
敷金及び保証金	582	577
その他	716	614
投資その他の資産合計	1,299	1,191
固定資産合計	5,963	5,969
資産合計	16,929	16,427

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和5年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (令和5年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,219	2,534
1年内返済予定の長期借入金	411	345
未払法人税等	84	180
契約負債	1,753	1,785
賞与引当金	182	200
その他	787	688
流動負債合計	6,438	5,735
固定負債		
長期借入金	652	491
長期未払金	422	416
その他	7	7
固定負債合計	1,082	915
負債合計	7,520	6,651
純資産の部		
株主資本		
資本金	381	381
資本剰余金	909	909
利益剰余金	8,031	8,394
自己株式	△0	△0
株主資本合計	9,322	9,685
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△0	△0
その他の包括利益累計額合計	△0	△0
非支配株主持分	87	91
純資産合計	9,408	9,776
負債純資産合計	16,929	16,427

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 令和4年4月1日 至 令和4年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 令和5年4月1日 至 令和5年9月30日)
売上高	16,423	19,580
売上原価	12,517	15,074
売上総利益	3,906	4,505
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	411	427
給料及び手当	1,041	1,065
賞与引当金繰入額	185	186
賃借料	395	400
その他	1,364	1,656
販売費及び一般管理費合計	3,399	3,736
営業利益	506	769
営業外収益		
受取利息	0	0
受取手数料	3	2
受取賃貸料	8	7
協賛金収入	0	2
その他	2	3
営業外収益合計	14	16
営業外費用		
支払利息	3	2
為替差損	7	4
その他	0	0
営業外費用合計	11	7
経常利益	510	778
税金等調整前四半期純利益	510	778
法人税、住民税及び事業税	22	148
法人税等調整額	161	101
法人税等合計	183	249
四半期純利益	326	529
非支配株主に帰属する四半期純利益	4	4
親会社株主に帰属する四半期純利益	322	525

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 令和4年4月1日 至 令和4年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 令和5年4月1日 至 令和5年9月30日)
四半期純利益	326	529
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1	0
その他の包括利益合計	△1	0
四半期包括利益	325	529
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	320	525
非支配株主に係る四半期包括利益	4	4

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。